

令和3年度第3回成田市行政改革推進委員会会議結果概要

1 開催日時

令和4年3月3日（木） 午前10時から午前11時まで

2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所 行政棟3階 第二応接室

3 出席者

（委員）

久野直衛会長、塚田和佳子副会長、佐久間三智子委員、高塚典子委員、
田中みを委員、宗藤睦夫委員、諸岡靖彦委員

（オンラインによる参加の委員）

芦澤博委員、岩澤信一委員、西村好恵委員

（成田市）

清水総務部長

事務局（行政管理課）伊藤課長、成田係長、佐々木主査

4 配布資料

- ・会議次第
- ・資料1 （案）成田市行政改革推進計画（令和4（2022）年度～令和6（2024）年度）の策定について（答申）
- ・資料2 取組項目修正一覧
- ・資料3 行政改革推進計画 令和4（2022）年度～令和6（2024）年度（素案）

5 議題

（1）成田市行政改革推進計画（令和4（2022）年度～令和6（2024）年度）の策定について

6 議事（要旨）

前回の会議（令和4年2月7日）で諮問のあった成田市行政改革推進計画（令和4（2022）年度～令和6（2024）年度）の策定についての答申を決定するに当たり、前回の会議での意見等を踏まえて作成した答申案の内容について、委員の意見交換・協議が行われた。主な意見等は次のとおりである。

（答申案の本文について）

- ・諸岡委員 1 ページ目の記の2行目「いまだ感染症の流行は収束を迎えることもなく、」について、同じ認識であるが、もう少し厳しいスタンスにした方がよいのではないか。たとえば、「いまだ感染症の流行は出口が見えることもなく、」

といった表現ではどうか。

→ご指摘のとおり修正する。

- ・宗藤委員 2ページ目の14行目「新駅の設置や新たなまちづくり」について、行政改革推進計画本体においては、新駅の設置について具体的に触れられていない。整合を図る必要があるのではないか。

→ご指摘のとおりである。新駅の設置については、Ⅱ-③-9「土地区画整理事業による公共施設の適正な配置」に含まれるものであるので、その中に新駅の設置について記載するか、本文から新駅の設置を削除するかのいずれかで対応したい。

(Ⅰ-① 市民との協働 に関する附帯意見について)

- ・岩澤委員 前回も申し上げたが、市内事業者との連携については、うまくつながれば行政にも大きな効果があると思うので、積極的に推進していただきたい。

(Ⅰ-② 市民サービスの向上 に関する附帯意見について)

- ・西村委員 「LINE」と「インスタグラム」とで表記の統一は図らなくてよいか。
- ・久野委員 LINEはLINEでよいが、インスタグラムをInstagramと表記されると私は少し戸惑うかもしれない。
- ・塚田委員 文書としては統一したほうがよいと考える。

→カタカナ表記とアルファベット表記を併記する方向で統一する。

- ・宗藤委員 2の3行目「新生成田市場などの」の後に「産業資源の」を追加してはどうか。

→ご指摘のとおり対応する。

- ・高塚委員 ケーブルテレビやベイエフエム等はある、Instagramを活用した情報発信もはじめているが、そもそもそれらの存在を知らない人たちがいる。そういった人たちに周知し、みんなが同じ情報を得られるよう取り組んでいただきたい。
- ・久野委員 広報手段の周知については記載を追加していただきたい。

→ご指摘のとおり対応する。

- ・佐久間委員 Ⅰ-①及びⅠ-②と関連して、成人式の見直しも考えられるのではないか。自分自身が参加した時は着飾ることが目的ではなかった。今回は成年年齢も引き下げもあることから、選挙、市の制度や将来挫折してしまった時のセーフティネット、NPOの起業等について周知を行ってはどうか。ひとりの話を聞くだけでなく、パネルディスカッション形式のほうがよいと考える。
- ・塚田委員 情報の周知は永遠のテーマである。広報のための技術は進化するし、受け手も年齢等により必要な情報が変化する。そこをどうマッチングしていくか。その点からすると成人式で若者向けの情報を提供するというアイデアは良いと考える。また、何かあった時のヒントとなる情報を撒いておくという発想も必要である。

・久野委員 情報の共有は重要な観点である。若者への周知については附帯意見に記載していただきたい。

→ご指摘のとおり対応する。成人式についても担当課へ伝えたい。

・宗藤委員 成人式の話題が出たが、成年年齢の引き下げ後の成人式について、成田市はどう考えているのか。

→成年年齢は引き下げられるが、成人式は引き続き20歳を対象に行う予定である。
(Ⅱ-② 持続可能な財政構造の構築 に関する附帯意見について)

・宗藤委員 2の3行目「税率改正について検討されたい」を「税率改正について、市民への周知を含めて検討されたい」としてはどうか。

→ご指摘のとおり対応する。

(Ⅱ-⑤ 効率的な組織・機構の構築 に関する附帯意見について)

・田中委員 成田市には多くの部・課・係があり、様々な事業を行っている。直接市民と接している職員の小さな意見がきちんと吸い上げられ、委員会等にかけるよう、職員間の連携は強化していただきたい。

・久野委員 仕組みは重要であるが、そこに人がつながらないと効果的に機能しない。

・諸岡委員 市政のトップから窓口対応を行う職員まで、全体として調和して、組織として業務を行うことが必要であり、その実現は行政改革の目的のひとつであるとする。

(行政改革推進計画の実効性を高めるために に関する附帯意見について)

・田中委員 この部分に全ての要素が網羅されている。先ほど市民への周知が話題に出たが、行政改革推進計画をどれだけ市民に読んでもらい、理解してもらい、ともに取り組みたいと思ってもらえるか。今後もそうした視点を持って計画を仕上げていただきたい。

・佐久間委員 たとえば、Ⅰ-①-5「自主防災組織の育成と結成促進」に「組織の必要性を説明し、結成を促している」という表現があるが、これはともに取り組もうという表現ではない。そうした部分から見直していく必要があるのではないか。

・久野委員 成田市は大きな街であり、誰もがお互いの顔を知っているという状況ではない。そのため、すぐに「じゃあやろうか」とはならないが、今後も取組を重ねていくことが重要だと考える。

8 傍聴

傍聴者 なし